

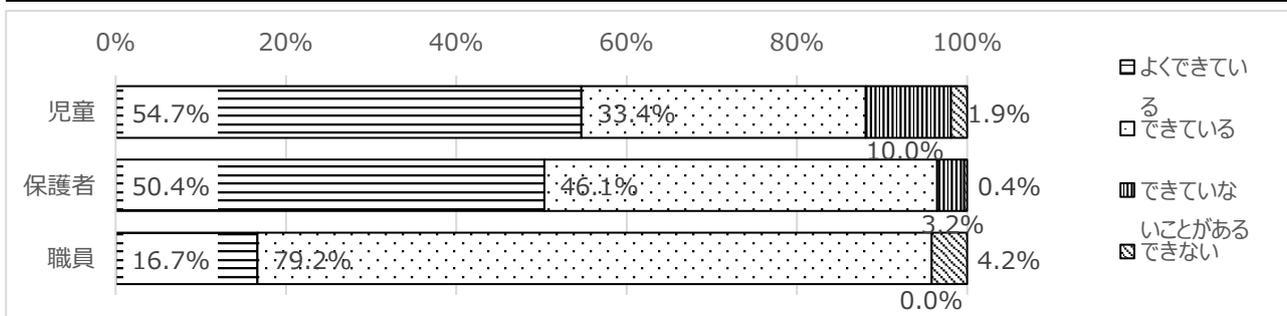
令和7年度教育活動評価アンケートまとめ（名戸ヶ谷小）

【 学校生活 】

(※) (1) 学校生活満足度と(2) 学校生活期待度の児童への質問内容は同じものです。

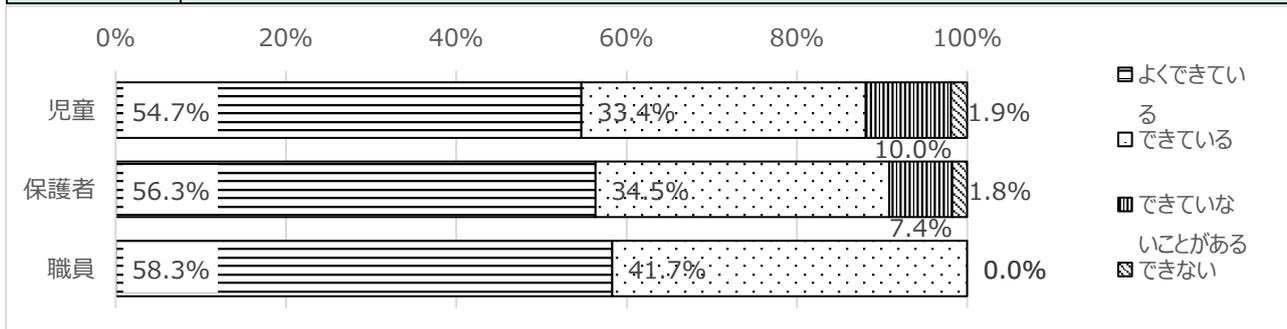
(1) 学校生活満足度

児童	学校(がっこう)では楽(たの)しくすごしていますか。
保護者様	名戸ヶ谷小学校の教育活動全般に満足している。
教職員	名戸ヶ谷小学校の教育活動全般について、満足している。



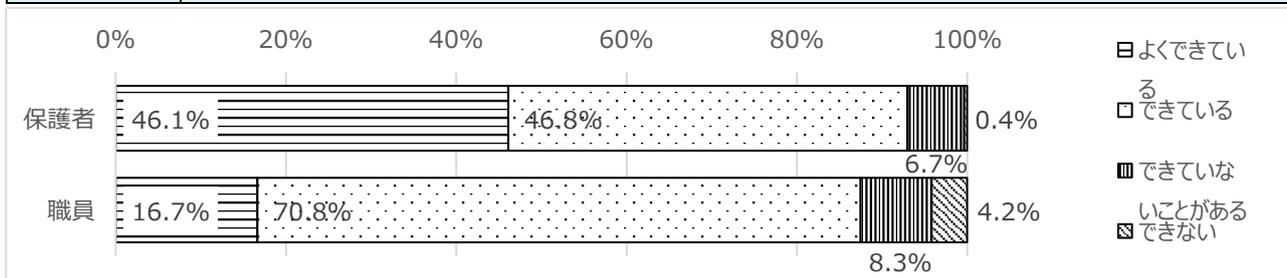
(2) 学校生活期待度

児童	学校(がっこう)では楽(たの)しくすごしていますか。(※)
保護者様	お子様は、学校での生活を楽しみにしている。
教職員	どの子も楽しく学校生活を送れるよう、一人一人を大切にされた教育に努めている。



(3) 学校教育目標

保護者様	学校は一人一人を大切にされた教育を行っている。
教職員	学校教育目標「自分で考え判断し 夢の実現に向けて たくましく生きる子の育成」を意識して、教育活動にあたっている。



●分析結果

○学校生活満足度に関して、児童(88.1%)と保護者様(96.5%)が肯定的な回答をしています。教職員の「よくできている」は16.7%にとどまりますが、教職員全体では、95.9%が肯定的な回答をしているものの、「よくできている」と回答した教職員は16.7%と非常に低く、現状に満足せず、さらに児童を成長させたい、向上させたいという課題意識の強さが表れています。

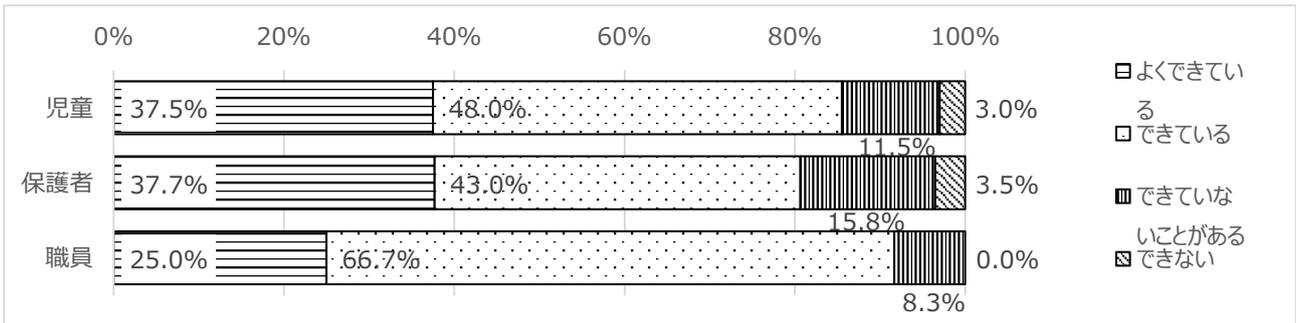
●今後の対応・方針

○「学校は楽しい」「通わせたい」という基本的な信頼を、なお一層のこと構築していけるように、教職員の指導の在り方(児童の主体性を育む学校行事の充実、学習指導、生徒指導等)を常に見直していきます。

【 授 業 】

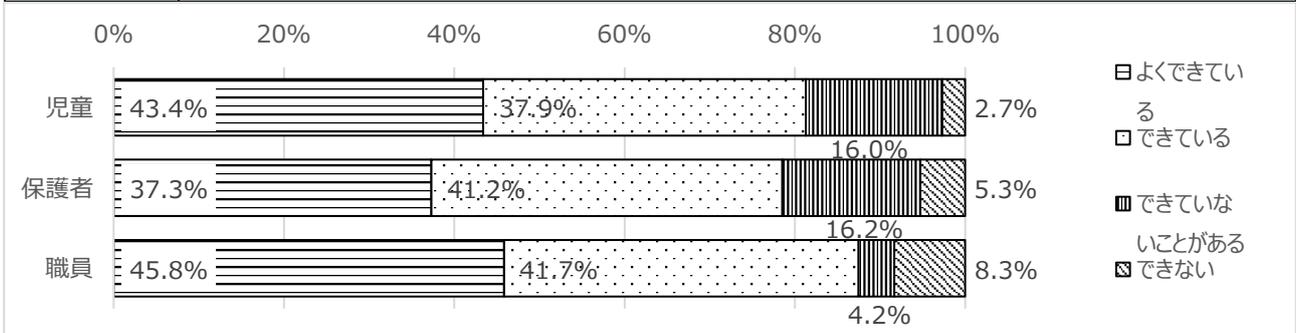
(4) 学習に取り組む態度

児童	授業中(じゅぎょうちゆう)は、自分(じぶん)からすすんで学習(がくしゅう)をしていますか。
保護者様	お子様は、主体的・意欲的に学習に取り組んでいる。
教職員	子どもたちが、主体的に学習に取り組めるよう、授業を工夫している。



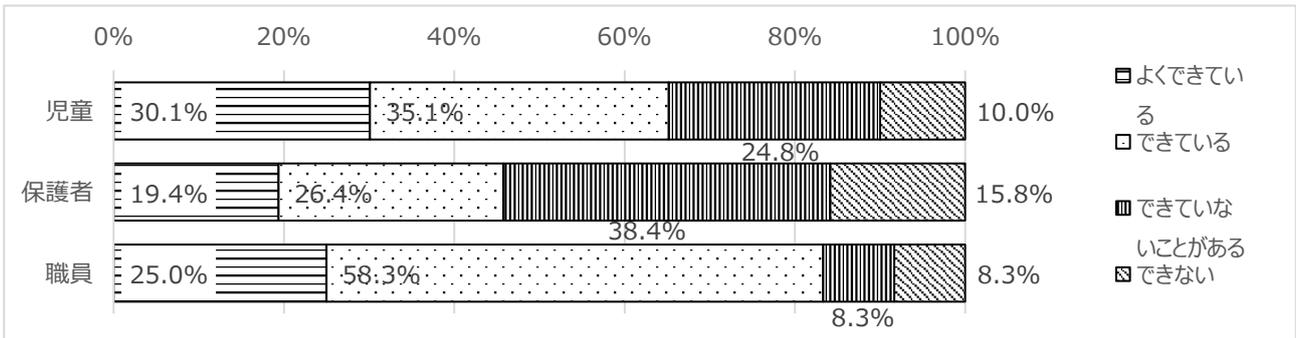
(5) 家庭学習・自主学習への取組

児童	宿題(しゅくだい)や自主(じしゅ)学習(がくしゅう)に自分(じぶん)から取(と)り組(く)んでいますか。
保護者様	お子様は、宿題や自主学習ノート等の家庭学習に進んで取り組んでいる。
教職員	家庭で学習する習慣をつけるために、宿題や自主学習を推進している。



(6) 読書推進・学校図書館活動

児童	本(ほん)を進(すす)んで読(よ)んだり、本(ほん)で調(しら)べたりしていますか。
保護者様	お子様は、本をよく読んでいる。
教職員	読書をする機会を設けたり、学校図書館指導員と連携した授業に積極的に取り組んだりしている。



●分析結果 (学習態度および学習意欲)

- 学習態度および学習意欲について、親子の肯定率は「児童：(4) 85.5% (5) 81.3%、保護者様：(4) 80.7% (5) 78.5%」と、生活面に比べるとやや下がります。「自分から進んで学習しているか」という問いに対し、「よくできている」と答えた児童は37.5%、保護者様は37.7%にとどまりました。約半数は「できている」レベルであり、主体性のさらなる向上が課題です。
- 教職員の回答(91.7%)のうち、「よくできている」単体では25.0%しかなかった点を踏まえると、「授業において、『子どもが目をは輝かせて主体的に学んでいるか』という、まだ物足りない」という教職員の思いが感じられます。これは、児童の現状には満足せず、「さらに成長させたい」「さらに向上させたい」という強い課題意識の表れであると考えます。

●今後の対応・方針（学習態度および学習意欲）

- 「やらせる学習」から「自ら学ぶ学習」への転換を図り、児童が主体的に学ぶことができるように、教職員の研修を充実させていきます。
- 学級指導において、話の聞き方、授業を受ける姿勢等について声をかけていくのはもちろんのこと、授業の中で、話し合う必然性を教師から投げかけるなど、発問の工夫についてもしていきたいと思ひます。
- 以前、「自主学習で何をしたらよいかわからない」という御意見をいただきました。新年度、自主学習の課題を出す際には、学級担任より児童がわかるように説明した上で取り組んでいけるようにします。宿題については、学年の実態を踏まえて内容や量を考えるとともに、学年内で学級差が出ないようにしていきたいと思ひます。

●分析結果（読書活動）

- 児童（65.2%）、保護者様（45.8%）、教職員（83.3%）となっており、特に、児童、保護者様において「できている」を含めても低いということは、習慣そのものが定着していない層がかなり多くいることを示しています。読書活動に関して言えば、ここ数年の名戸ヶ谷小学校の課題と言えます。
- 全項目の中で最も評価が低い分野です。特に、保護者様の評価が低く、「よくできている（よく読んでいる）」は19.4%しかありません。
- 児童自身も30.1%しか「よくできている」と答えておらず、読書習慣の定着が学校・家庭共通の課題として浮き彫りになっています。
- 毎年、名戸ヶ谷小学校の課題となっており、今年度、教職員は読書活動を意識して、教育活動に取り組んできました。そのため、教職員（83.3%）の評価は昨年度と比べて肯定的な回答となっています。

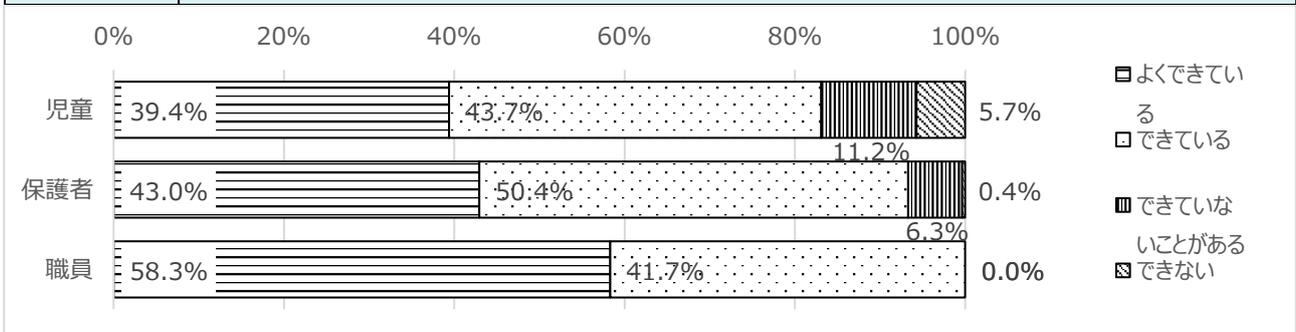
●今後の対応・方針（読書活動）

- 今後はICTだけの活用であったり、好きな本を読むだけの読書の時間にしたりするのではなく、調べ学習など学習の中で情報活用できるよう授業を組み立てたり、学校図書館指導員を活用した授業を行っていったりしていきます。
- 肯定率100%に近づけるために、ICTや読書活動を活用した個別最適な学びなど、それぞれの良いところを取り入れた上でのアウトプット型の授業を増やし、学習の「楽しさ」を深めます。
- 「読み聞かせボランティアの拡充」や、単元を貫く言語活動を生かしてイベント性を持たせた学習形態を取り入れ、読書に関心のない層を巻き込みます。

【 教育相談・生徒指導 】

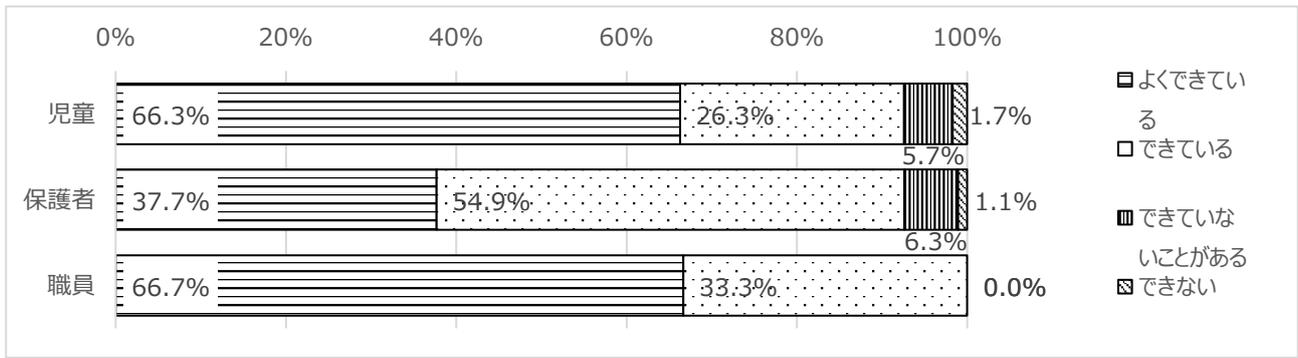
（7）教育相談

児童	家族(かぞく)、先生(せんせい)、友達(ともだち)、相談(そうだん)ポストなど、困(こま)ったときに自分(じぶん)の話(はなし)を聞(き)いてもらっていますか。
保護者様	学校は、お子様の悩みや保護者様の相談に応えている。
教職員	子どもの悩みや保護者様の相談に応えている。



（8）いじめ防止

児童	いじめや悪口(わるくち)など人(ひと)のいやがることをしないで、友達(ともだち)となかよくしようとしていますか。
保護者様	学校は、いじめのない学校づくりに努めている。
教職員	いじめのない学校づくりに努めている。



●分析結果

- 教育相談について、教職員は100%が「応えている」と回答していますが、児童（83.1%）や保護者様（93.4%）との間には、若干の温度差が見受けられます。特に、児童と教職員との間に、差異が見受けられることが気になります。
- いじめ防止について、児童・保護者様ともに肯定率は92.6%、教職員は100%です。「よくできている」「できている」を合算すると9割を超えており、「何かあれば対応してくれる」という安心感をもっていただいていると認識しております。
- その一方で、保護者様との教職員の中で認識のギャップが存在することも確認できます。保護者様の「よくできている」は37.7%と慎重な評価になっています。家庭からは見えにくい部分であるため、学校側からの継続的な発信が必要と考えられます。
- 「(2) 学校では楽しく過ごしていますか」の問いに対して、学校生活を楽しく過ごしていると「できていないことがある」「できない」と回答した児童が合わせて11.1%いました。また、「悪口や人の嫌がることをせず友達と仲良くできていますか」の質問に「できていないことがある」「できない」と回答している7.4%の児童の存在とあわせると、潜在的に困り感を抱えている児童がいることが伺えます。

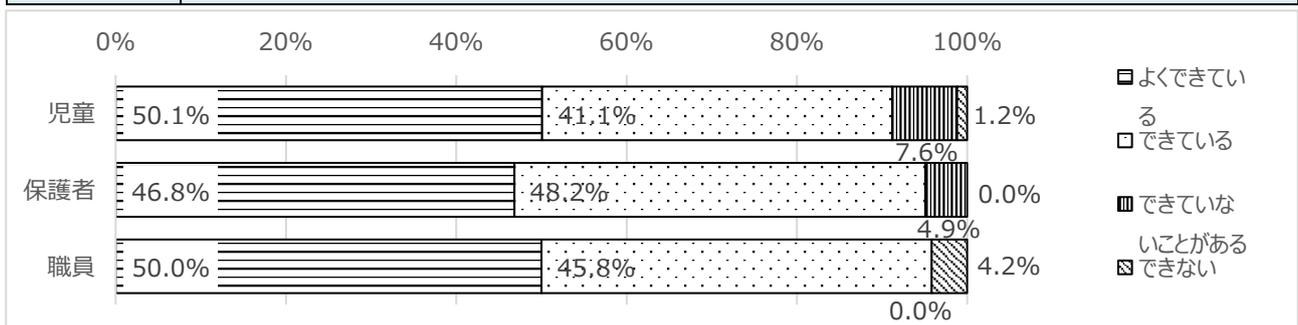
●今後の対応・方針

- 教育相談においてもいじめ対応においても、児童・保護者様と教職員の間認識のギャップが存在していることが確認できました。御家庭からは見えにくい部分であるため、学校側からの継続的な発信が必要と考えられます。また、教職員に相談しやすい雰囲気づくりの継続や、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談支援も、引き続き行ってまいります。
- 日頃から複数の教職員が相互に児童の表情や態度を察知するよう再度徹底して、児童が気持ちよく学校生活を送ることができるように支援していきます。
- 欠席・遅刻や早退等の状況にも目を向け、教職員がお互いに声をかけ合い、チームで対応することや、保護者様の皆様との連絡等を密にとりながら対応に当たっていきたいと思います。

【 社会規範・安全教育 】

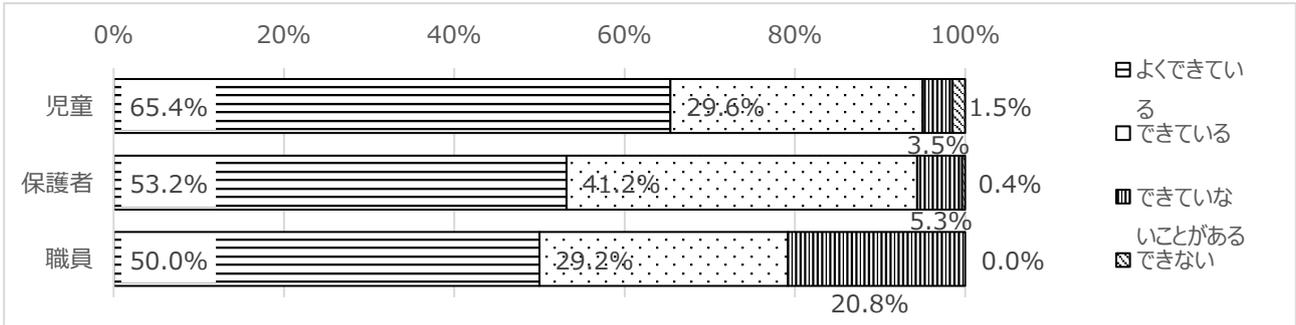
(9) 名戸ヶ谷スタンダード、社会や地域でのルールやマナー

児童	名戸ヶ谷(などがや)スタンダードを守(まも)ったり、地域(ちいき)でのきまりを守ったりして生活(せいかつ)をしていますか。
保護者様	お子様は、学校のきまりである「名戸ヶ谷スタンダード」や、社会のきまりを守って生活している。
教職員	学校のきまりである「名戸ヶ谷スタンダード」や社会の決まり・ルールを守るよう指導している。



(10) 不審者対応、安全指導

児童	交通(こうつう)ルールやマナーを守(まも)って、安全(あんぜん)に気(き)をつけて生活(せいかつ)していますか。
保護者様	学校は、不審者や事故の防止等に取り組み、安全を確保している。
教職員	不審者対策や事故の防止等に取り組むなど、安全教育の推進に努めている。



●分析結果

○社会規範(ルール)に関して、児童の91.2%が肯定しており、落ち着いた学校生活を送れています。一方で、校内や校庭での児童同士がぶつかるという事故が何度か起きています。

○安全指導に関して、児童の95.0%が交通ルールや安全について肯定的な回答しており、学校での安全指導や不審者対応の意識が児童によく浸透しています。一方、教職員の肯定的な回答の割合が、児童・保護者様と比べると低くなっており、認識のずれも見取することができます。

●今後の対応・方針

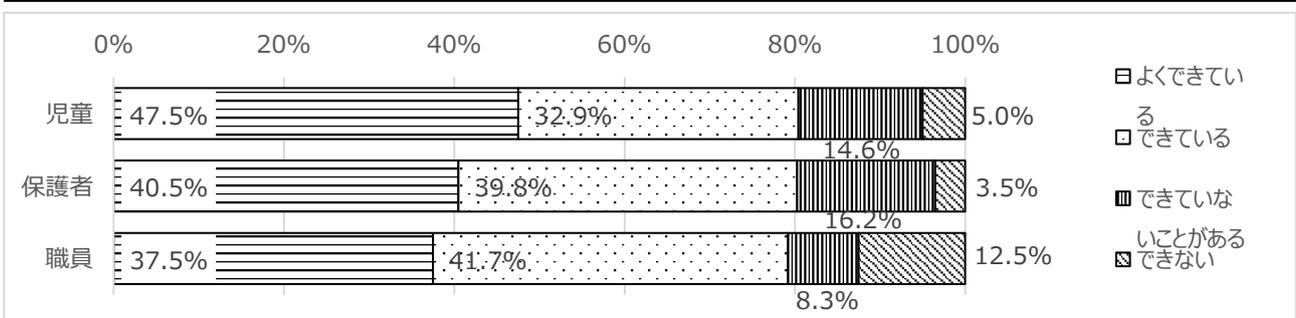
○アンケートにはありませんでしたが、地域の方から放課後の遊び方や自転車の乗り方や駐輪の仕方、スケートボード(キックボードなど)の乗り方についても御意見をいただきました。再三再四、学校でも呼びかけておりますが、実情としてなかなか定着していません。御家庭でも、放課後の過ごし方について声をかけていただくと助かります。

○登校時の旗振りボランティアの皆様(保護者様や地域の皆様)と協力しながら、安全指導を進めてまいります。

【 体力向上 】

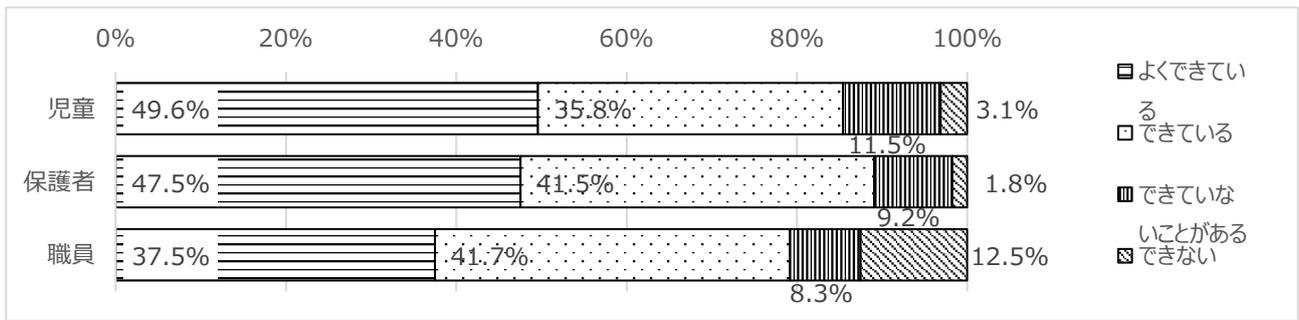
(11) 体力向上

児童	体力(たいりよく)づくりに、自分(じぶん)から進(すす)んで取(と)り組(く)んでいますか。
保護者様	お子様は体育の授業や外遊びなどを通して、体力の維持・向上に努めている。
教職員	体育の授業や保健指導の充実により、体力の向上、健康の増進に努めている。



(12) 保健指導・健康増進

児童	早寝(はやね)早起(はやおき)をしたり、外(そと)から戻(もど)ってきたときには、手(て)を洗(あら)ったりして、風邪(かぜ)をひかないように気(き)をつけていますか。
保護者様	お子様は、手洗いの励行などの保健指導や「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣指導を通して、健康増進に努めている。
教職員	体育の授業や保健指導の充実により、体力の向上、健康の増進に努めている。



●分析結果

- 体力向上に関して、進んで体を動かす児童とそうでない児童の二極化が進んでいるように感じます。教科体育の時間では、運動量の確保を目指していますが、忘れ物をして教科体育を見学する児童も散見されます。
- 保健指導・健康増進に関して、保護者様（89.0%）や児童（85.4%）は「できている」と感じていますが、教職員の肯定率は79.2%と、全項目の中で比較的低めです。数値以上に「寝不足気味の子がいる」「体力が低下している」「不調を訴える子がいる」といった実態もあります。

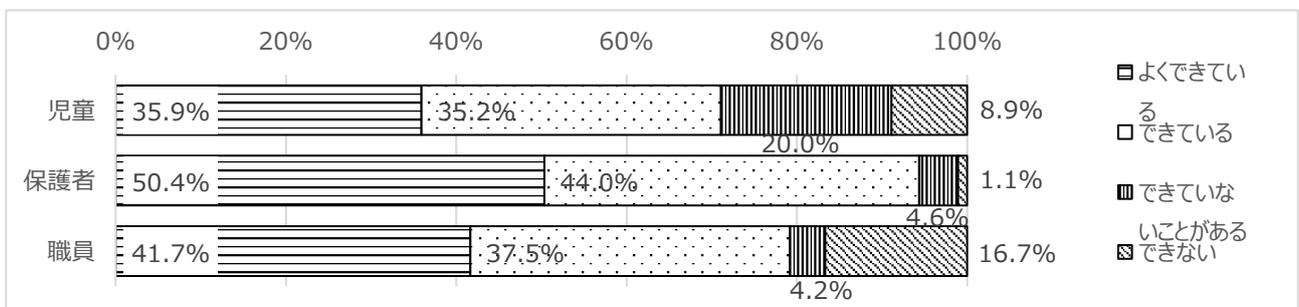
●今後の対応・方針

- 教科体育の中でしか、運動をする機会がないという児童もいます。体育の指導方法などを見直し、1時間の授業の中でしっかりと運動量の確保ができるようにしていきます。また、名戸ヶ谷小学校にある広い校庭を活用した遊び方の工夫をしていきます。保護者様には、忘れ物がないかどうかの確認をお願いいたします。
- 教職員が感じている「肌感覚の課題（実は疲れている子が多いなど）」を具体的なデータやエピソードとして保護者様に伝えていきたいと思えます。学校だけで解決するのは困難なこと（睡眠やメディアコントロール）など、家庭内での習慣が主因であるものに関しては、御家庭と学校とで協力しながら対応していきたいと思えます。
- 感染症は依然として、流行する恐れがありますので、今後も継続して、感染症に関する情報を sigfy や保健だより等をとおして、御家庭と情報の共有をしていきます。

【 地域連携・情報発信 】

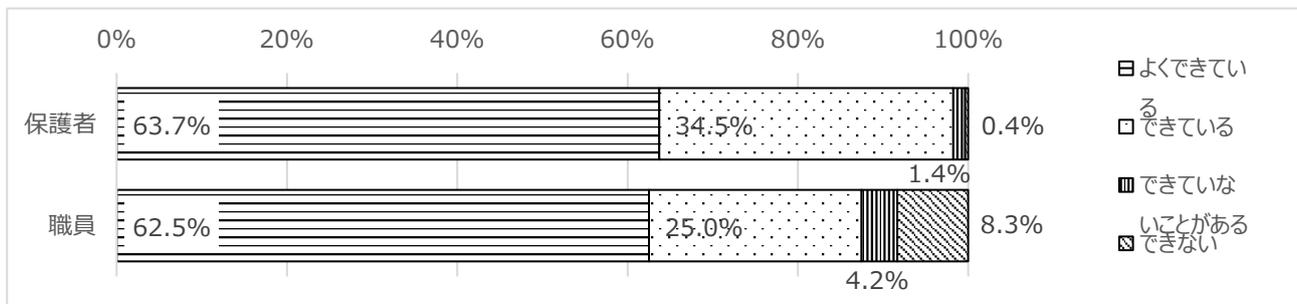
（11）地域行事への参加、コミュニティ・スクール、PTA 活動との連携

児童	地域(ちいき)の行事(ぎょうじ)に、積極的(せっきよくてき)に参加(さんか)していますか。
保護者様	学校は、地域やコミュニティ・スクール、PTA と協力して教育活動にあっている。
教職員	地域やコミュニティ・スクール、PTA と積極的に連携して教育活動にあっている。



（12）情報発信

保護者様	学校は教育方針や子どもたちの様子を、学校だよりやホームページ等を通して伝えている。
教職員	教育方針や子どもたちの様子を学校だよりやホームページ等を通して伝えている。



●分析結果

○地域行事への参加に関して、保護者様や教職員は地域連携を評価していますが、児童の「地域行事への積極参加」は71.1%とやや低めです。子ども自身が地域との関わりを実感できるような働きかけの余地があります。

●今後の対応・方針

○地域行事への参加を「ボランティア」や「企画側」として位置づけ、高学年を中心に役割を与えることで、当事者意識（肯定感）を高めます。特に、令和8年度には、御家庭・地域・学校と、アイデアを出し合って創り出せる50周年記念式典があります。この機会を生かして、地域や御家庭との関わりを強めることができるようにしていきます。

○令和7年度に引き続き、令和8年度においてもお手伝いアンケートを学校からその都度発信し、一緒に活動していただける方を募集していきたいと思います。

○情報発信に関して、保護者様の98.2%が「学校だよりやHPで情報が伝わっている」と回答しており、非常に高く評価していただいております。今後も、できるだけわかりやすく発信していけるよう努めてまいります。

【今後の方針・重点目標】

●具体的な取り組み重点

○生活面：「基本的な生活習慣の育成」や「社会規範の向上」を目指します。

○学習面：児童にとって「魅力ある授業づくり」に取り組みます。

○人間関係：「支え合う人間関係づくり」に注力します。

●学校教育目標の実現

○引き続き、学校教育目標である「自分で考え判断し 夢の実現に向けてたくましく生きる子の育成」を目指して活動を展開します。

今後も御家庭や地域、学校との細やかな連絡・相談の積み重ねが、皆様の信頼をつくり、児童の安心した学校生活につながっていることを再認識いたしました。引き続き、基本的な生活習慣の育成や社会規範の向上を目指すとともに、児童にとって魅力ある授業づくりや支え合う人間関係づくりに取り組んでいきたいと思います。

終わりに、学校教育活動アンケート内における「【自由記述欄】上記の質問項目に対するご意見や次年度の教育活動の向けてのご意見などがございましたら、ご記入ください。また、教職員への励ましのお言葉もございましたら、ぜひご記入ください。」の回答欄におきまして、頂戴いたしました御意見に関しては真摯に受け止め、令和8年度に向けて改善して参ります。

また、【自由記述欄】において、保護者の皆様から非常に多くの温かいお言葉や励ましのお言葉を頂戴いたしました。教職員一同、拝読させていただき、とても励みになりました。ありがとうございました。

令和8年度も、御家庭や地域と手を取り合いながら、名戸ヶ谷小学校の子どもたちの成長のために教育活動を進めて参りたいと思います。